

一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 北海道特別支援学校へのフットサル巡回指導活動報告

- 報告者 吉田 順 省
- 報告期日 平成 29 年 11 月 6 日
- 実施校 北海道中札内高等養護学校、北海道中札内高等養護学校幕別分校
北海道新得高等支援学校
- 巡回指導者 吉田 順 省、市場 大 資
- 当該校担当教諭 濱 谷 良 介 教諭
- 実施日 平成 29 年 11 月 19 日 (日)
- 実施日程 13 : 00 ~ 16 : 00 フットサル合同交流大会 (23名)

○実施概要

今回は中札内、幕別分校、新得の3校が合同でフットサル交流会として開催して頂きました。生徒さんの障がいの程度は軽く、知的も高い生徒さんが多くコミュニケーションが取りやすく明るい生徒さんでスムーズな進行でフットサル指導、交流戦が出来ました。

まず、最初の1時間はフットサルクリニックを実施させて頂きました。実施内容としましては担当の先生から少し難しい内容でとの依頼がありましたので、コントロールやシュートなど専門的で次の交流戦に繋がるような内容で部行わせて頂きました。

交流戦は各校に分かれての試合で人数が足りない学校には私たちが入る形で行い、その後は大人対生徒という生徒も各校の生徒をシャッフルしてエキシビジョンマッチとしてゲームを行いました。先生の皆さまもサッカー経験者が多く、明るい雰囲気の中、フットサルを行うことが出来たと感じております。

最後には今回の活動を通じて生徒の皆さんにお話しさせて頂いていることで仲間と協力して何かを実現させる、成功させる、仲間を応援するなど「チームワーク」、そスポーツを行う「楽しさ」、また今後の人生において余暇活動の一環としてフットサルをはじめ、スポーツを取り組んでもらい「心と体の健康」というテーマをフットサルを通じて学んで頂けたらとお話しさせて頂きました。



○自己評価及び今後の課題等

今回の巡回指導では、フットサルの専門的な内容を実施させて頂きましたが、少し難しい内容で生徒の皆さんを少し混乱させてしまったと感じております。しかし、生徒の皆さんは楽しそうにフットサルクリニックに参加して頂き、試合も明るい雰囲気の中、行うことが出来ました。先生の皆さまにもご協力頂き、大きな怪我もなく無事終了することが出来ました。

また、この活動を通じて皆さまにお伝えさせて頂いているフットサルに限らず、スポーツを行う事で今後「心と体の健康」が大切になると伝えさせて頂きました。

高校を卒業して社会に出るといろいろなことがある中、運動・スポーツを行う事で健康的で精神的にも強く生きていけると私は強く感じているので、今回も指導の最後に、このことについて強調してお話させて頂きました。

今回も大きな怪我もなく楽しい雰囲気の中でフットサル指導が行えたと感じておりますが、たくさんの先生の皆様のご協力があり成功しているとも強く感じ、自分自身も成長させて頂いています。これに慢心することなく、道内の支援学校の生徒さん、親御さん、先生の皆さんにフットサルを通じて楽しく、今後に繋がる時間を過ごして頂けるよう、「小野寺眞悟財団」の指導担当者として、活動してまいりますので今後もよろしくお願ひ致します。